わたしの議会。

No.197
11
2026



9月29日～10月4日まで市議会を代表して河村議長が鳥羽市親善使節団としてサンタバーバラ市を訪問しました。

鳥羽市議会各種ＳＮＳ

とば市議会だより 目次

令和７年度決算の概要…… 2
常任委員会報告…… 3～5
提言書の提出…… 5
議員別表決結果…… 6
一般質問…… 7～10
令和８年度
鳥羽市議会サポーターについて…… 11
12月議会のご案内 …… 12

令和７年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定ほか、鳥羽市手数料徴収条例の一部改正についてなど、執行部提案議案１４件、請願１件、発議３件を審議しました。

議会報告

令和７年度 決算の概要

○ 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、水道基本料金の減免事業を実施したほか、学校給食費無償化事業（小・中学校）を実施し、物価高騰に直面する市民及び子育て世帯への経済的負担軽減を図りました。
○ 鳥羽中央中学校の開校に向け、令和４年度から継続して実施してきた校舎の大規模改修、通学路の歩道拡幅、グリーンベルトの敷設、横断歩道・街灯の設置など、生徒が安全・安心に通学できる環境の整備を進めました。
○ 令和８年度からの宿泊税の賦課徴収開始に向け、旅館組合などの関係団体と意見交換を重ねながら「鳥羽市宿泊税条例」及び「観光まちづくり基金条例」を制定し、持続可能な観光まちづくりを推進するための財政基盤を整えました。

令和７年度の決算は、一般会計で実質収支が6億9,460万1,000円の黒字となり、前年度の実質収支を差し引いた単年度収支においても1億877万9,000円の黒字となりました。

また、特別会計の実質収支は国民健康保険事業で8,388万7,000円、介護保険事業で1億2,747万2,000円、後期高齢者医療で860万9,000円の黒字となり、４事業で合計2億1,996万9,000円の黒字となりました。

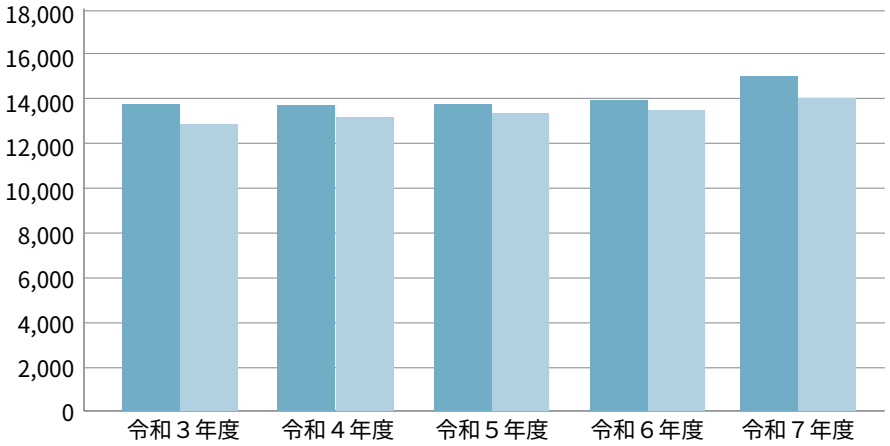
令和７年度における一般会計、特別会計の決算状況は下表のとおりです。

令和７年度 会計別決算状況

（単位：千円）

区分 / 会計		歳入決算額 A	歳出決算額 B	歳入歳出差引額（形式収支） C（A-B）	翌年度へ繰り越すべき財源 D	実質収支 E（C-D）	令和６年度実質収支 F	令和７年度単年度収支 G（E-F）
一般会計		14,881,271	14,079,133	802,138	107,537	694,601	585,822	108,779
特別会計	国民健康保険事業	2,576,412	2,492,525	83,887	0	83,887	52,421	31,466
	介護保険事業	2,917,464	2,789,992	127,472	0	127,472	131,758	△4,286
	定期航路事業	701,597	701,596	1	0	1	1	0
	後期高齢者医療	635,758	627,149	8,609	0	8,609	6,112	2,497
	小計	6,831,231	6,611,262	219,969	0	219,969	190,292	29,677
合計（一般＋特別）		21,712,502	20,690,395	1,022,107	107,537	914,570	776,114	138,456

一般会計決算規模の推移



（単位：百万円）

	歳入	歳出
令和３年度	13,709	12,825
令和４年度	13,600	12,972
令和５年度	13,659	13,189
令和６年度	13,907	13,319
令和７年度	14,881	14,079

常任委員会報告

● 各常任委員会に 14 議案と１請願が付託されました。

行政常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

議案第14号　鳥羽市手数料徴収条例の一部改正について

〈内容〉令和9年1月5日から令和10年3月31日までの間、多機能端末機による証明書交付（コンビニ交付）について、1通（件）につき10円とする。



問　約1年間、各種証明書の発行手数料を10円とする規定の追加であるが、結果の検証等、将来的な展望は。

答　現時点では令和10年3月をもって10円での交付は終了予定であるが、その後については昨今の物価高騰や費用対効果も考え、手数料のあり方について検討はしていきたい

議案第15号　鳥羽市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

〈内容〉理学療法士等のみなし保育士化及び児童対象性暴力等の防止に関する規定を追加するもの。

問　理学療法士や作業療法士がみなし保育士として保育できるのか疑問である。

答　みなし保育士については、フォローする保育士を配置する規定となっている。



議案第19号　財産の取得について

〈内容〉鳥羽パールビルの解体後の敷地を取得するため、鳥羽パールビル建物取壊し敷地売却組合と契約を締結したく、議会の議決を求めるもの。

問　売主の撤去義務と更地の条件とは。

答　地表から上の構造物及び、地表下2メートルまでの地中埋設物はすべて撤去していただき、今後の整備に影響のないように、埋戻し整地等を行ったうえで市に引き渡しされる。



今後、売主により建物除却が進められる鳥羽パールビル

議案第20号　財産の取得について

〈内容〉鳥羽市民体育館サブアリーナの舞台装置における照明器具の更新にあたり、購入契約を締結したく、議会の議決を求めるもの。

問　当初予算審査から半年経過しているが、議案の上程が今になったのはなぜか。また、照明はいつ頃設置されるのか。

答　設置するライトについて、業者との協議に時間を要した。設置の時期については、受注生産のため年明けの令和９年1月から2月頃の予定である。



既設のシーリングライトの交換と、新たに
フロントサイドライトが設置されるサブアリーナの舞台

予算決算常任委員会

審査の主な内容は、次のとおりです。

認定第１号　令和７年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について

審査終了後の委員間討議で委員から出された主な意見

企画財政課

ＤＸ推進事業について、令和７年度に26件の業務改善を行ったことなど、今後のＤＸ推進は大いに期待できる。市民サービスの向上という目的を見失わず、ＤＸはあくまで手段であることを念頭に、当該事業の強化・推進を図ってほしい。



観光商工課

離島の魅力創出事業について、神島を舞台とした人気ゲームとのコラボ事業について、３年間かけて慎重に準備・熟成させ、若い世代の聖地巡礼・周遊という大きな経済効果へつなげた点は、行政のチャレンジとして評価する。



ゲーム内に登場した神島の時計台

税務課

収納率の向上や、利用者の利便性向上、職員の作業負担の軽減が図れたことに対し、税務課として常に業務改善を意識して新たな取り組みを行っていることは評価する。



健康福祉課

地域共生社会推進事業において、まちトークの開催や応援金の活用を通じ、課題を明確にし、居場所づくりなどに繋げている地区もあるとのことであった。地域によっては、合意形成に時間を要することもあるとのことだが、多様化する地域課題解決に向け、引き続き取り組みを進めてほしい。

一次及び二次医療対策事業について、「とば健康・医療相談ダイヤル24」の開設により、緊急時でも医療にアクセスすることができる体制の構築を新たに図ったことは、非常に価値がある。



消防本部

防火対象物立入検査業務及び危険物施設等検査業務について、防火対象物や危険物施設への立入検査後の改修・是正指導をさらに徹底し、安全・安心の確保に努めてほしい。

教育委員会学校教育課

外国語教育推進事業について、英語教育において英検などの指標や目標設定が手段化している点が懸念される。本来の目的であるコミュニケーション能力や国際理解の向上に向け、検証・評価方法について再度検討してほしい。

議案第12号　令和８年度鳥羽市一般会計補正予算（第４号）

〈主な補正予算の内容と質疑応答〉

- 生活困窮者自立支援事業（物価高騰等の影響により生活困窮に関する支援ニーズが依然として続いていることから、地域で生活困窮者支援等を実施する団体に対し、その活動経費の一部を助成するための費用を補正）
…７１０万７０００円

問 当該事業は多くの団体が利用しており、助かるという声は聞いている。各事業者との連携が必要となるが、プラットフォームはいつ頃の実施を予定しているか。

答 遅くとも来月から募集をスタートできるようにしていきたい。

- 予防接種事業（小児の季節性インフルエンザ予防接種費用の一部を助成することにより、子育て世帯の経済的負担を軽減し、あわせてインフルエンザ発症及び重症化の予防並びに感染拡大の防止を図る。これに伴う事業実施に必要な経費を補正）
…２８２万３０００円



討論

発議第３号　厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について

《反対》　五十嵐（いがらし）　ちひろ　議員

《賛成》　戸上（とがみ）　健（けん）　議員

提言書の提出について

予算決算常任委員会では、９月８日から11日まで行われた令和７年度決算審査において、議員間討議で出された意見に基づき令和９年度予算編成に対する提言書を作成しました。

このことから、９月18日本会議終了後に、河村（かわむら）議長、南川（みなみがわ）副議長、木下（きのした）予算決算常任委員長、世古雅人（せこまさひと）予算決算常任副委員長が市長室を訪れ、市長に対し提言書の提出を行いました。



なお、提言書の詳細については、左記ＱＲコードよりご確認いただけます。

予算決算常任委員会
提言書

年賀状の自粛申し合わせについて



市議会では、「市議会議員」としての年賀状を自粛することを申し合わせておりますので、市民の皆様のご理解をお願いいたします。



令和８年８月26日～９月18日会議　議員別表決結果

○：賛成　×：反対
－：欠席もしくは棄権

議案番号	議案名	議決日	審議結果	倉田正義	五十嵐ちひろ	世古雅人	山本欽久	瀬﨑伸一	南川則之	濱口正久	河村孝	戸上健	木下順一	坂倉広子	尾﨑幹	世古安秀
12	令和８年度鳥羽市一般会計補正予算（第４号）	9月18日	可決	○	○	○	○	○	○	○	議長につき表決なし	○	○	○	○	○
13	令和８年度鳥羽市定期航路事業特別会計補正予算（第２号）		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
14	鳥羽市手数料徴収条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
15	鳥羽市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
16	鳥羽市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
17	鳥羽市景観条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
18	鳥羽市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
19	財産の取得について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
20	財産の取得について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
21	鳥羽市辺地の総合整備計画の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
22	令和７年度鳥羽市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
認定1	令和７年度鳥羽市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
認定2	令和７年度鳥羽市水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
認定3	令和７年度鳥羽市下水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
請願1	鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の保障と充実を求める請願書		採択	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
発議2	サンタバーバラ市親善使節団訪問事業への議員の派遣について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
発議3	厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書の提出について		可決	○	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
発議4	鳥羽の子どもたちの「豊かな学び」の保障と充実を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
報告3	令和７年度鳥羽市健全化判断比率の報告について		報告につき採決なし													
報告4	令和７年度鳥羽市定期航路事業特別会計資金不足比率の報告について															
報告5	令和７年度鳥羽市水道事業会計資金不足比率の報告について															
報告6	令和７年度鳥羽市下水道事業会計資金不足比率の報告について															
報告7	一般財団法人鳥羽市開発公社の経営状況の報告について															

これが問いたい●ここが聞きたい

一般質問



9月1日・2日に7人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁の概要をお知らせします。
※一般質問、議案質疑の原稿は議員本人の文責です。

各議員の動画はこちらからご覧いただけます↑

日程	議員氏名	項目
9月1日（火）	戸上（とがみ）　健（けん）	物価高騰と熱波から市民を守るために 地域経済振興策を問う
	濱口正久（はまぐちまさひさ）	災害時における命を守る対応と安心につながる防災体制について
	倉田正義（くらたまさよし）	若者の市内定住・就職の促進に向けた「若者チャレンジ応援予算」の展開について
	南川則之（みなみがわのりゆき）	加茂川井堰用水供給施設の維持管理及び整備計画について 新たな防災気象情報の運用及び坂手町坂手公民館の緊急避難場所（土砂災害）の指定等について
9月2日（水）	尾崎（おざき）　幹（みき）	都市計画区域及び用途地域の抜本的見直しについて
	木下順一（きのしたじゅんいち）	観光地における喫煙環境の適正化と分煙施設の整備について
	世古安秀（せこやすひで）	鳥羽市の観光政策について 災害時のトイレ環境の整備について

中小企業・小規模企業振興条例の具体化は



戸上（とがみ）　健（けん）

市長 果敢に取り組む覚悟だ

問 念願の鳥羽市中小企業・小規模企業振興条例が4月に施行されました。市内の中小零細業者の期待も非常に高いです。条例の具体化はどのように始まっておりますか。

答 観光商工課長　商工会議所をはじめとする関係機関と連携し、事業者の成長を地域経済の好循環につなげていきたいという思いを込め、事業化しています。

問 地域内再投資力に公的発注がどれほど占めていますか。また、今後さらに高めるための施策をどのように考えていますか。

答 財政課長　5年間の累計で36億5840万1780円です。このうち市内事業者への発注実績は、34億3267万2155円、全体平均で93・83％に達しております。今後、地域内での経済波及効果をさらに高めるためには、第1に、鳥羽市中小企業・小規模企業振興条例に基づき、市内事業者による受注機会の確保に取り組んでまいります。第2に、人件費や資材高騰を的確に反映した適切な価格転嫁での発注に努めてまいります。

答 市長　地域経済の持続的な発展を図り、好循環を生み出すためには、現状を的確に分析し、実効性のある施策をスピード感を持って実行していくことが不可欠であろうと思っております。漏れ穴を塞ぐということを念頭にしながら、果敢に取り組む覚悟でございます。



市長の避難指示を全庁共通の判断基準とすべきでは



濱口正久（はまぐちまさひさ）

市長
首長として極めて責任の重いものだと考えている

問 各種警報等発表に伴う対応について、保護者への引渡しが二次災害につながらないよう、どのような判断基準を設けていますか。

答 学校教育課長　災害発生直後など、保護者の来校や児童・生徒の移動がかえって危険を伴う場合には、直ちに引渡しを行わず、避難先や学校で安全を確保するなどの対応を取ることとしており、各家庭の所在や避難環境なども考慮しながら、各学校長が学校安全計画等に基づいて判断しています。

問 離島住民や帰宅困難者が不安を感じないよう、情報提供体制をどう構築していますか。

答 定期船課長　鳥羽マリンターミナル閉鎖時には、定期船利用者や帰宅困難者に対し、関係部署と連携しながら避難誘導や情報提供を行っており、運航再開の見込みや情報更新の時期については可能な限り情報提供に努めるとともに、利用者の安全確保を最優先とした対応を継続していきます。

問 今後の災害対応について、市長の避難指示を全庁共通の判断基準として統一した方針の下で対応すべきと考えますが、市長の見解を伺います。

答 市長　市で発令する避難指示等は、首長として発令する極めて責任の重いものだと考えておりますが、鳥羽市の地理的状況等を踏まえると全庁管理の下ではなかなかできないこともあるということも承知しております。



「若者チャレンジ応援予算」のフルパッケージ展開を



倉田正義（くらたまさよし）

市長
これからしっかり庁内で考えていきたい

問 奨学金返還支援、家賃補助、住環境の整備など、若者の就職や定住を後押しする多面的な施策の必要性について伺います。

答 地域創生課長　若い世代の定住やＵＩＪターンの促進は本市の重要な最優先課題の一つです。本市の特性に合った効果的な若者支援策の導入に向けて、具体的な施策を検討したいと考えています。

問 市内在住者や一度市外に出た若者を、本気で歓迎していると強いメッセージを発信する「移住・定住枠」を職員採用試験に設置すべきと考えますがいかがですか。

答 総務課長　災害時の初動体制、市民目線の観点から職員が市内在住であるほうが良いと思っています。一方で憲法における移住、移転・職業選択の自由や、採用時の競争の原理の確保などから慎重な立場です。

問 若者たちが求めているのは、自らが主役となって挑戦できる舞台です。「若者チャレンジ応援予算」についてフルパッケージ展開を要望します。

答 市長　一つ目が魅力的な働く場の創出。二つ目に安心・安全な住環境。三つ目に挑戦する若者を応援できるまちづくり。四つ目は若い人が住みたいと思える魅力的なまち。四点について、これからしっかり庁内で考えていきたいと思っています。



茨城県境町の定住移住促進・賃貸住宅
（25年住み続けると土地・建物を無償譲渡）

加茂川松尾井堰、大井井堰、野畑井堰用水供給施設の整備計画は



みなみがわのりゆき
南川則之

市長
維持管理や設備更新は計画的に対応していく

問 令和7年度以降、松尾井堰、大井井堰揚水ポンプの故障の原因と対応はどうでしたか。

答 農林水産課長　令和7年6月に松尾井堰の揚水ポンプが、経年使用による劣化が主な要因で故障が発生しました。緊急対応し、従前より口径の小さいポンプを2基設置し、令和8年度にも1基追加設置しました。大井井堰の揚水ポンプは、令和8年4月に1基が故障しました。松尾井堰と同様の原因と考えますが、仮設のポンプを設置し、受注生産のため年度内の更新を予定しています。

問 加茂川松尾井堰、大井井堰、野畑井堰用水供給施設の老朽化対策を行うため、整備計画の作成と実施計画に入れる必要があると考えますがどうですか。

答 市長　今後の維持管理や設備更新は計画的に対応し、大規模ハード事業への位置づけもしっかり考えていきます。

坂手公民館の土砂災害緊急避難場所の指定は

市長
急傾斜地崩壊対策事業を三重県に要望していく

問 坂手公民館の土砂災害緊急避難場所の指定をするには、急傾斜地崩壊対策事業を三重県に進めていただき、早期の完成に向けて要望する必要がありますがどうですか。

答 市長　坂手町民の方にご納得いただけるよう、急傾斜地崩壊対策事業を三重県に要望していきます。



老朽化により揚水ポンプが故障した松尾井堰用水供給施設

防火地域の指定は大きなチャンスがある



おざき　みき
尾崎　幹

市長
地域の課題を注視しながら取り組んでいきたい

問 計画上は商店街や工業地帯になっていますが、お店も工場も閉まってしまい、まちのスポンジ化と言われています。まちづくりのルールとも言われる鳥羽市の都市計画区域、用途地域は、いつの時代に作られたものですか。

答 建設課副参事　本市における都市計画区域は昭和9年、用途地域は昭和48年に最初の指定が行われました。

問 鳥羽市の都市計画区域や用途地域は、昔のままストップしていますが、防火地域に指定すれば、敷地いっぱいに安全な建物が建てられる大きなチャンスがあります。市長自身の考えをお聞かせください。

答 市長　苦渋の選択の中でなかなか変えられない部分があるということでご理解いただきたいと思っております。地域の課題を注視しながら、担当課としっかり取り組んでまいります。

意見 危機感を持っていただき、次の6点について来年度予算に反映していただくことを望みます。①令和と昭和のずれてしまった街づくりのルール。②防火地域、準防火地域の指定がないこと。③地籍調査、空き家問題。④補助幹線道路がないうえ、中心市街地の道路が狭く、渋滞に弱いこと。⑤火葬場を高台へ移転させる手続の遅れ。⑥災害リスクの高い地域から安全な高台移住の遅れ。



鳥羽駅・佐田浜周辺の喫煙環境の改善を



きのしたじゅんいち
木下 順一

囲い等の設置を早急に協議します

建設課長

問 鳥羽駅・佐田浜周辺は、鉄道、バス、定期船が結節し、多くの市民や観光客が行き交う鳥羽の玄関口です。しかし、現在の喫煙場所は灰皿が置かれているだけで、煙を遮る囲いはありません。JR鳥羽駅前では、苦情を受けて令和8年3月に灰皿を撤去しましたが、その後も路上や植え込みに吸い殻が見られます。観光地としてこのままでよいのか、鳥羽駅・佐田浜周辺の喫煙環境の改善をどのように進めますか。

答 建設課長　近鉄鳥羽駅前、ドルフィン公園、鳥羽マリンターミナル付近は分煙できていません。早急に喫煙場所を選定し、囲い等を設置できないか、関係団体と協議します。

問 将来の再整備と現在の環境の両方を視野に、受動喫煙防止、景観、管理、財源などを整理し、誰もが気持ちよく過ごせる鳥羽市に合った分煙環境を全庁的に検討しますか。

答 市長　分煙環境の整備は必要です。受動喫煙防止とまちづくりの両面から、全庁的に検討します。長期的には策定中のまちづくり基本計画に盛り込まれると見込んでいます。また、現在の環境への対応も、建設課と関係団体との協議を踏まえて近いうちに議論し、国際観光文化都市として胸を張れる玄関口を目指します。



稼げるみなとまち再生は



せこやすひで
世古安秀

直接着岸できる港の整備計画を国、県に上げていきたい

市長

問 今後のクルーズ船の入港は50回予定され期待も大きいが、稼げる海の玄関口の「みなとまち再生」はどう考えていますか。

答 市長　これから県、国に3万トン級のスーパーヨットも含めて、直接着岸できるような港の整備を計画として上げていきたいと思っています。

問 美観整備補助金の創設の経緯と、現在の申請者数と採択者数をお答えください。

答 観光商工課長　宿泊税の導入を検討する中で「施設の老朽化や修繕への対応が課題となっている」との事業者の声も踏まえ創設しました。申請者は59件、採択は12件です。

問 施設を良くして観光客を入れようと意欲を持って申請された事業者に、スピーディーな対応をしていただきたいが、市長はどう考えていますか。

答 市長　来年度に向けて、制度設計や予算化すればと考えております。

大規模災害に備えてトイレトラックの導入は

市長

管理コストを検証しながら、導入に向けて検討をしたい

問 志摩市の先進事例に学び、大規模災害に備えて、被災者の健康を確保するためにトイレトラック導入の考えはありませんか。

答 市長　イベント等で使えることや災害時の有用性も考えますと、維持管理コスト等を検証しながら、導入に向けての検討をしたいと思っております。



乗客4000人のダイヤモンドプリンセス号。
地域の経済効果も期待できます。

令和８年度 鳥羽市議会サポーターが決定しました

８月１８日（火）に令和8年度鳥羽市議会サポーター任命式を開催しました。





令和8年度鳥羽市議会サポーターのみなさん

宇田川菜央子（うだがわなおこ）さん、金子将也（かねこまさや）さん、田中次尚（たなかつぐなお）さん、小林信行（こばやしのぶゆき）さん、中村俊一（なかむらしゅんいち）さん、
城山　巧（しろやまたくみ）さん、岡野（おかの）あいさん、細木大路（ほそきひろみち）さん、三宅大吉（みやけだいきち）さん、寺本祐二（てらもとゆうじ）さん

今年度は10名の市議会サポーターの皆さまと活動してまいります。

市議会サポーターの皆さまにはサポーター活動の発信やTOBAミライトーク実施の橋渡しの役割を担っていただくほか、議会の傍聴や議会放送等の視聴、議会の運営に関する意見の提出や議員との意見交換会に参加していただく予定です。

鳥羽市議会としましては、市議会サポーターと共に、議会をより身近に感じる「開かれた議会」を目指し、議会運営の改善に向けて努めてまいります。

令和８年12月議会のご案内

11/22	23	24	25 本会議 （議案上程）	26	27	28
29	30	12/1 本会議（一般質問）	2	3	4 本会議 （議案質疑）	5
6	7 行政常任 委員会	8 予算決算 常任委員会	9	10	11	12
13	14 本会議 （表決）	15	16	17	18	19

※会議日程は変更する場合があります。開催時刻等、詳細は市議会カレンダー（右記QRコード）よりご確認ください。
なお、一般質問の日程は質問者の人数により次のとおり変動します。

- 質問者が5人以下の場合→1日間（12月1日のみ）
- 質問者が6人以上～ 10人以下の場合→2日間（12月1日・2日）
- 質問者が11人以上の場合→3日間（12月1日・2日・3日）



傍聴してみませんか？

本会議や委員会は原則公開されており、傍聴が可能となっています。ぜひ実際の議会中の空気を感じてみてください。

編集後記

わたしの議会。（とば市議会だより）第197号をお届けします。

昨年度からスタートした鳥羽市議会サポーター制度も２年目に入りました。令和８年度鳥羽市議会サポーター10名の任命式が８月18日に執り行われました。

昨年度は、サポーターのみなさんに１年間で約50件の議会運営等に関するご意見をいただきました。今年度も、鳥羽市議会が何をしているか伝える役割を担っていただき、市議会の役割を明確化し、一緒に住みよい鳥羽の未来をつくっていきたいと考えています。

記　南川則之（みなみがわのりゆき）

広報広聴委員会

委員長	山本欽久（やまもとよしひさ）
副委員長	濱口正久（はまぐちまさひさ）
委員	倉田正義（くらたまさよし）
委員	五十嵐ちひろ（いがらし）
委員	世古雅人（せこまさひと）
委員	南川則之（みなみがわのりゆき）
委員	河村　孝（かわむらたかし）

とば市議会だより
編集／広報広聴委員会
発行／鳥羽市議会
〒517-0011 鳥羽市鳥羽３丁目１-１
☎0599-25-1206 FAX0599-25-1215 ✉gikai@city.toba.lg.jp
鳥羽市議会 検索

Noto Fonts (c) Google Inc.Licensed under Open Font License